阿部君マレーシアを訪問

第5回県青年海外派遣団国際理解を深める

次代を担う青年に国際的視野と国際協力の涵養を目的で開催された第五回新潟県青年海外派遣団（団長今井柏崎市助役）は、田中総理が東南アジアから帰国されたといれかわりに、一月十七日から二十六日までマレーシアを中心に訪問された。

この青年派遣団員二十名の中に本村青年、阿部嘉寿一君も参加している。

田中総理の東南アジア五ヶ国訪問でインドネシアやタイで激しい反日デモが行われたように、現在、日本は東南アジア諸国から強い不信や反感がもたれている。

阿部君ら一行は、十七日新潟を出発、十八日羽田から香港、バンコク経由で最初の訪問地マレーシアのクアラルンプールを訪れた。

クアラルンプールでは、三泊し、日本大使館、国会議事堂、国立博物館などを見学したほか、現地青年との交歓会を行った。

翌二十一日から二十三日までインドネシアのジャカルタやバリ島を訪問する予定であったが、田中総理のインドネシヤ訪問で反日運動が激しく暴動状態がおさまらず、やむなく訪問をとりやめ、マレーシアの首都シンガポールで四泊することになった。

シンガポールでは、主要施設の見学をしたり、リポートのまとめを行った。

二十五日シンガポールを経ち、帰国の途につき、二十六日新潟で解団式を行った。

今回の派遣団は、田中総理の訪問直後で反日デモでインドネシアを訪れることはできなかったが、東南アジアとの間で起きているさまざまな問題を日本の外から見ることができたこと、現地の生の実情にふれたことは大きな収穫であった。

また、これらの不信、反感を青年の真の友好と理解を深める中で解決してゆきたいものである。

じょうずな電話のかけ方
＝大型電話＝

◆あらかじめ、10円玉をなるべく多く用意し、受話器をとってから10円玉を数枚入れてからお話しをしてください（10枚まで入ります。）

◆10円玉が一枚だけですと相手がつながったときに「ピッ」という音が入り3分後に切れてしまいます。

◆お話しをしながら10円玉を追加してください。継続してお話しがでできます。お金が不足しますと話しの途中で切れてしまいます。

◆お話しが終ってお金が残れば、必ず下の返却口に戻ってきます。

◆大型赤電話のかけ方は、大型青電話と同じですが、10円玉は六枚まで入ります。

◎　◎　◎

物価高、公民館結婚にも影響
近く運審で結論を出す

このところ、公民館で結婚式を行う若いカップルが増え公民館ではうれしい悲鳴をあげている。

公民館結婚は、生活の合理化をめざしてはじまったもので、昭和三十七年五月杵鞭章平さん、斎藤由利子さんが挙式されたのが第一号で、以来今年で十一年目、七十四組を数え、すでに春の結婚シーズンは、申し込みが殺到している。

このことについて公民館では、公民館結婚が村民に理解されたものと評価している。

ところが、最近の異常な物価高は、公民館結婚にもその影響がまぬがれなくなってきた。

公民館結婚は、簡素で厳粛を旨として二〇〇〇円の会費制、料理、式菓子等、関係業者と話し合って限度額を定め酒や引出物を含め一人当り三八〇〇円程度におさえてきたが、案内ハガキの値上げに続き業者から料理、式菓子等の限度額30％引上げの要請がきている。

また村民からも「一生に一度のこと、粗末なこともできない」と、暗に公民館結婚式の限度額引上げを要請している。

しかし、本村の公民館結婚式は、他市町村の一人当二〇〇〇円程度に比べ半分以上も高く、けっして物価高のせいとは云えない点もある。

公民館結婚の意義を再認識していただき、〝無駄と無理のない〟生活改善を行っていただきたいものである。

このことについて公民館運審で近く会議を開催して結論を出す予定である。

予防接種

三種混合　百日セキ、破傷風、ジフテリア
該当者（全村）　昭和48年7月1日から同年10月31日生れの者
期日　昭和49年2月25日午後1時～2時30分
場所　横越村公民館

一般支払日のおしらせ

村財務規則の一部改正により、毎月収入役の窓口で支払う一般向支払い日は、昭和四十九年一月から十五日と、月末とし、その日が休日または土曜日の場合は前日とすることとしました。

なお一般向支払いとは、次の場合をいいます。

村に物品等を納入したもの の金銭、村と契約（請負）した工事等の金銭、これらに類するもので村から受取る金銭の支払いです。

昭和49年一般支払日

1月	14日（月）	・31日（木）
2月	15日（金）	・28日（木）
3月	15日（金）	・29日（金）
4月	15日（月）	・30日（火）
5月	15日（水）	・31日（金）
6月	14日（金）	・28日（金）
7月	15日（月）	・31日（水）
8月	12日（木）	・30日（金）
9月	13日（金）	・30日（月）
10月	15日（火）	・31日（木）
11月	15日（金）	・29日（金）
12月	13日（金）	・27日（金）

交通安全入選作文

交通戦争をなくそう

横越中学三年　羽賀　進

現代はまさに「交通戦争」だ。死傷者が減ったとはいえ一日だけで四十～五十人、一年間で一万六千余人の人が全国でこの戦争の犠牲者となる。

いったい、いつになったらこの交通戦争は終るのだろうか。

交通事故をまきおこす発生源、それは大部分が乗り物、特に自動車だ。例えば自動車どうしの正面衝突や横断中の歩行者を自動車がはねるということだ。この類の記事は毎日のように新聞に載っている。そればかりではない。今やこの自動車は、もう一つの問題をまきおこしている。それは「公害」だ。都会では自動車の吐き出す排気ガスが「光化学スモッグ」発生の大きな原因となっている。

これに対しては、アメリカの「マスキー法」にのっとり「日本版マスキー法」と称して、今、規制を強めている。

その一つの表われとして東洋工業のルーチェAPが、国産車として始めてそのマスキー法にパスしたと伝えられている。自動車公害をこれ以上許さないためにもこのような規制は、どんどん強めていくべきと思う。

しかし、これで自動車公害の一つは押えたとしても、交通戦争そのものはなくならないということである。だが、これには欠点がある。正面衝突は防げるとしても、前後の追突ということが起きてくる。よくS・Fなどでは、磁石のS極とS極、N極とN極のように逆らい合うものがある。それを利用すれば、自動車どうしが何対かに接近すると逆らい合い絶対衝突しないということになろう。こんなことが実現すれば、事故は確実に減るがこれはもし出来たとしても値段が高くつきすぎる。

そこで現代の交通戦争に対する対策だが、自動車をなくすることは、まず無理だ。それではいったいどうするか。

まず、始めにこう考えてみた。交通量の多い道路では、二車線以上が普通だが、そのような所では、他の所にもう一本道路を作って、上りなら上り、下りなら下りとして片側通行にし、もっとゆったりと自動車が走れるようにする。

そこで二番目の案としては交差点などをなくし、小さな立体交差にするということだ。しかし、これは町中では無理だ。

そこで三番目の案として全体を大型輸送にきりかえたらどうか。つまり、大型車を増やし、全体の車の量を減らすということだ。しかしこの考えにも問題があるようだ。それは、あまり大きな車を作ると曲り角などが簡単に曲れなくなり、交通渋滞が起こるということだ。それに道路の痛みがはげしくなる。

そこで、四番目の案として、全国に鉄道を、今の首都圏のように網の目のように張りめぐらし、整備するということだ。要するに自動車に代わる交通機関として他にそれを求めるということだ。少しの運賃を払えばいつでも、どこへでも、だれもが行けるようになる。この鉄道は、公害を起さないという利点がある。（終）

第一回村囲碁将棋大会
熱戦が展開

一月二十七日、第一回村囲碁将棋大会は、横越村商工振興会の後援を得て、横越村公民館で開催された。

囲碁将棋は最近、小杉小学校や横越中学校のクラブ活動としてとり入れられるなど頭脳スポーツとして各地で盛んに行なわれるようになった。

大会は、公民館長のあいさつ、亀田囲碁将棋センター山四段から試合上の注意があったあと、小学生二名を含め二十名が参加してリーグ戦で行なわれた。

試合は将棋一部、囲碁の部で同点決勝が行なわれるなど好勝負がくりひろげられた。

○囲碁
一位　永井貞次（横越）
二位　渡辺旦治（小杉）
三位　佐藤　清（横越）

○将棋一部
一位　佐藤豊吉（横越）
二位　佐藤高次（横越）
三位　栗山俊吾（木津）

○将棋二部
一位　村木　勲（二本木）
二位　南村正作（横越）
三位　伝　富男（木津）

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎
心配ごと相談所の利用を
毎月一の日が相談日

横越村公民館に昨年十月から心配ごと相談事業が常設されました。

他人とのもめごと、子どもや親兄弟などの家庭問題などで悩んでいる方は、是非ご利用ください。

相談員は、民生委員が皆さんの立場になって相談に応じ解決にお力ぞえすることになります。

相談内容は、絶対秘密にし費用は無料です。

◎相談日　毎月1日、11日、21日
午前10時から
午後2時まで